

1. プログラム策定に当たっての基本的考え方

◇ 金融を巡る局面の転換 — 緊急対応から未来志向へ —

「金融システムの安定」を重視した金融行政
(不良債権問題への緊急対応)



「金融システムの活力」を重視した金融行政
(将来の望ましい金融システムを目指す)

◇ 望ましい金融システム

「官」の主導ではなく、「民」の力で
いつでも、どこでも、誰でも、適正な価格で、良質で多様な商品にアクセスできる金融システム
(利便性、価格優位性、多様性、国際性、信頼性に優れた金融システム)

魅力ある市場の創設

「貯蓄から投資」へ

「金融サービス立国」の実現

◇ 「金融サービス立国」への挑戦に当たっての5つの視点

利用者ニーズの重視と利用者保護
ルールの徹底

ITの戦略的活用等による金融機関の競争
力強化及び金融市場インフラの整備

国際的に開かれた金融システムの
構築と金融行政の国際化

地域経済への貢献

信頼される金融行政の確立